

2017年「ブラームス国際コンクール」ヴァイオリン部門日本人初優勝
モスクワ、ウィーンの流派を汲む若きヴァイオリン界の新星

中村太地 ヴァイオリンリサイタル

ピアノ：江口玲

プログラム

モーツァルト：

ピアノとヴァイオリンのためのソナタ K.301

ブラームス：

ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第2番 op.100

クライスラー：前奏曲とアレグロ、ウィーン奇想曲

イザイ：

サン=サーンスのワルツ形式の練習曲によるカプリース

他

※プログラムが変更となる可能性がございます。

あらかじめご了承下さい。

プロフィール

福岡県北九州市出身、3歳よりヴァイオリンを始める

2017年にブラームス国際コンクールにて日本人初の優勝を飾り、直後に行われたリヒャルト・シュトラウス国際コンクールでも第3位入賞を果たすほか、若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクール（最年少ファイナリスト）、ハチャトゥリアン国際音楽コンクール、クライスラー国際コンクールなど数多くの権威ある国際コンクールにて入賞や特別賞を受賞する。

ブルガリアで行われたシメオノヴァ国際コンクール優勝後には審査委員長A.スタンコフ氏に才能を認められ、直後にソフィアフィルハーモニー管弦楽団とベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲を共演しヨーロッパデビューを果たした。

モスクワやウィーンの流派を汲み、これまでにアナスタシア・チェボタリョワ氏や卒業後のウィーン国立音楽大学にてミハエル・フリッセンシュラガー氏に師事。

これまでに九州交響楽団、名古屋フィルハーモニー管弦楽団、サンクトペテルブルク交響楽団、クラークンフルトフィルハーモニー管弦楽団、ソフィアフィルハーモニー管弦楽団、フィルハーモニア・ジェルノグルシュカなど多数のオーケストラ及び、大山平一郎、故佐藤功太郎、渡辺一正、曾我大介、S.スムバチャン、A.スタンコフ各氏と共演する他、フィンランド・クフモ室内楽音楽祭にアーティストとして招かれるなど、ヨーロッパと日本を中心に活動中。

2016年度北九州市民文化奨励賞受賞。

2018年より株式会社スターフライヤーと音楽家として初となるスポンサー契約を結び、輸送支援を受けている。

© Ai Ueda

2018年8月24日(金) 18時開演(17時半開場) タカギクラヴィア松濤サロン

チケット料金(限定50席・自由席)：¥4,000 ※懇親会ご参加いただけます。

◆懇親会◆

20時～ 会場：カフェ・タカギクラヴィア(渋谷区松濤1-26-4)

JR・東横線・地下鉄「渋谷駅」より徒歩10分/京王井の頭線「神泉駅」より徒歩3分

渋谷駅西口より「ハチ公バス～上原・富ヶ谷ルート」にて2つ目、「松濤美術館入口」下車すぐ。

チケットのお申込み タカギクラヴィア 電話：03-3770-9611